

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

事業名	一般国道4号 <small>にしなすの</small> 西那須野道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自： <small>とちぎけん なすしおぼらしさんくちょう</small> 栃木県那須塩原市三区町 至： <small>とちぎけん なすしおぼらしにしとみやま</small> 栃木県那須塩原市西富山	延長	4.6km		
事業概要 一般国道4号は、日本橋を起点とし、宇都宮、郡山、福島、仙台、盛岡を経て青森市に至る主要幹線道路である。西那須野道路は、一般国道4号の那須塩原市街地の混雑緩和と安全性の向上、地域活性化等を目的とした延長4.6kmの4車線のバイパス及び現道拡幅事業である。					
H18年度事業化	S42年度都市計画決定 (S63年度変更)	H21年度用地着手	H29年度工事着手		
全体事業費	約205億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	85%	供用済延長	0.0km
計画交通量	12,700～28,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 5.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 61/235億円 (事業費：43/217億円) (維持管理費：18/18億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 363/363億円 (走行時間短縮便益：353/353億円) (走行費用減少便益：10/10億円) (交通事故減少便益：0.76/0.76億円)	基準年 令和2年	
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.4～1.7（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C=5.3～6.5（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.4～1.7（事業費 ±10%） 事業費：B/C=5.5～6.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.9（事業期間±20%） 事業期間：B/C=5.5～6.3（事業期間±20%）					
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・西那須野道路に並行する一般国道4号（現道）区間は、主要渋滞箇所に特定されており、特に三島北交差点周辺での速度低下が顕著。 ・西那須野道路の整備により、交通の円滑化が図られ、交通渋滞の緩和が見込まれる。 ②安全安心な通行の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・西那須野道路に並行する一般国道4号（現道）区間の死傷事故率は、54.3件/億台kmとなっており、栃木県平均（26.9件/億台km）の約2倍と高い。 ・一般国道4号（現道）の事故類型は追突による事故が多く、全体の6割を占める。 ・西那須野道路の整備により、交通の円滑化が図られ、交通事故の減少が見込まれる。 ③地域開発の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域には、製造品出荷額等が3,000億円以上の規模を誇る野崎工業団地が立地している。 ・周辺工業団地は概ね企業立地が進んでおり、西那須野道路の整備により、周辺道路の渋滞緩和による高速道路の西那須野塩原ICへのアクセス向上などにより、さらなる地域発展が期待される。 ④魅力ある観光地の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設、温泉地等への魅力ある観光施設が立地する那須エリアへの日帰り観光客は、8割以上が5回以上のリピーターである。 ・観光地のアクセス性が向上により、アクセス・周遊性が向上し、魅力ある観光地の形成を支援する。 ⑤農林水産品の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・那須地域は県内でも農産・畜産品の盛んな地域であり、那須塩原市の生乳は全国4位の産出額を誇る。 ・西那須野道路の整備により、卸売市場（宇都宮市、関東都心）へ新鮮な農林水産品の流通利便性の向上が期待され、地域ブランドを支えることが期待される。 ⑥中核医療施設へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・西那須野道路の整備により、中核医療施設（2次医療施設：那須中央病院）へのアクセスが向上し、病院からの30分圏域人口が約1.2万人、30分圏域面積が約4,260万km²増加し、地域医療を支える道路として期待される。 					

関係する地方公共団体等の意見

・ 栃木県知事の意見：

一般国道4号の当該区間は、渋滞が恒常的で交通事故も多く、沿線の企業や住民、及び道路利用者にとって、本事業によるこれらの課題解決は長年の悲願となっています。しかしながら、現時点では開通予定時期は示されておらず、更に事業費の大幅な増加による開通の遅れが懸念されますので、コスト縮減の徹底を図ると共に、早期完成をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業の継続を承認する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に変化が見られない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成18年度に事業化、平成29年度の工事着手に伴い、用地進捗率93%、事業進捗率85%（令和2年3月末時点）。今後、引き続き用地の取得を推進するとともに、早期開通に向け事業促進を図る。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元等の関係機関協議を踏まえた調整池の追加、構造物点検を踏まえた既存水路の付け替え等により、事業費増加が発生。

引き続き用地の取得を推進するとともに、早期開通に向け事業促進を図る。

施設の構造や工法の変更等

現道拡幅部は、既存の舗装構成を活用した切削オーバーレイを想定していたが、現地調査により期待する舗装性能を満足しないことが判明したため、舗装の打ち換えを行うものとした。

今後ともコスト縮減に努めながら事業を推進する。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、地域開発の活性化等の観点から、事業の必要性、重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。

事業概要図



凡	例
——	供用中
.....	事業中
▨▨▨▨	再評価箇所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。